



# CiNiiとNDLサーチ そのビジョンとミッション

国立情報学研究所

大向 一輝

# 自己紹介

公共図書館  
(3000館以上)

一般利用

国立国会図書館  
(1館)

収集・保存

大学・研究図書館  
(1000館以上)

研究・教育

国立情報学研究所

- 情報学の研究機関 + 大学への情報インフラ提供
- インターネット回線 + 学術情報サービス
  - 図書・雑誌 + 論文



ウェブ研究者 + サービス提供者

**CiNii** 日本の論文をさがす  
Articles

[論文検索](#) [著者検索](#) [全文検索](#)[大学図書館の本をさがす\\*](#)

大向 オープンデータ

検索

[すべて](#)[CiNiiに本文あり](#)[CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり](#)[詳細検索](#)

## オープンデータ活用:1. オープンデータとLinked Open Data Utilizing Open Data:1. Open Data and Linked Open Data



大向一輝

OHMUKAI Ikki

国立情報学研究所

National Institute of Informatics

[この論文にアクセスする](#)

情報処理学会

[この論文をさがす](#)

NDL-OPAC



CiNii Books



SFX

[抄録](#)

Webを通じたデータの積極的な公開・共有を目指すオープンデータを進めるにあたっては、ライセンスの選択やデータが作られる現場のワークフロー設計といった制度面における課題とともに、公開されるデータのフォーマットやアクセス方法などの技術面での検討が必要である。実際にオープンデータを利用するユーザの観点からは、

0

0

[ツイート](#)[いいね!](#)[キーワード](#)[特集](#)[各種コード](#)NII論文ID(NAID):  
110009625647NII書誌ID(NCID):  
AN00116625本文言語コード:  
JPNISSN:  
04478053NDL 記事登録ID:  
025009881NDL 請求記号:  
Z14-352収録DB:  
NDL NII-ELS[書き出し](#)[RefWorksに書き出し](#)[EndNoteに書き出し](#)[Mendeleyに書き出し](#)[Refer/BibIXで表示](#)[RISで表示](#)[BibTeXで表示](#)

# ユーザー サマリー

2013/11/01 - 2014/10/31

メール エクスポート マイレポートに追加 ショートカット

すべてのセッション  
100.00%

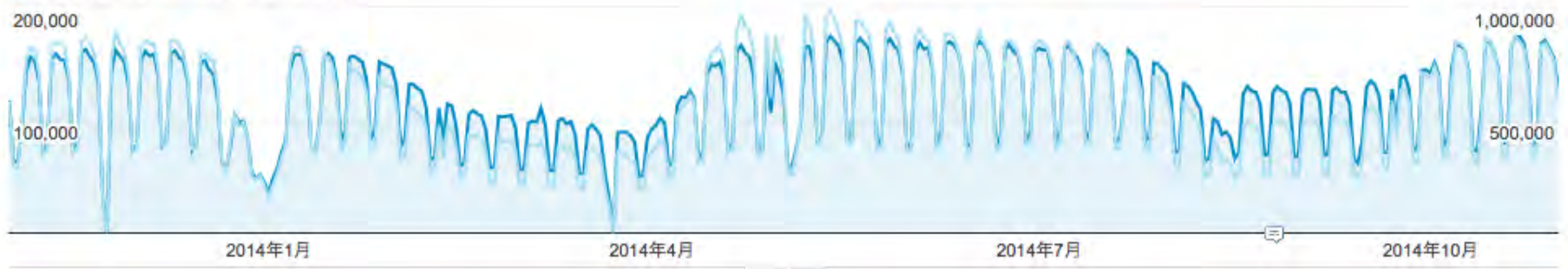
+ セグメント

## サマリー

セッション 対 ページビュー数

時間別 日 週 月

● セッション ● ページビュー数



セッション  
**42,180,481**

ユーザー  
**20,009,319**

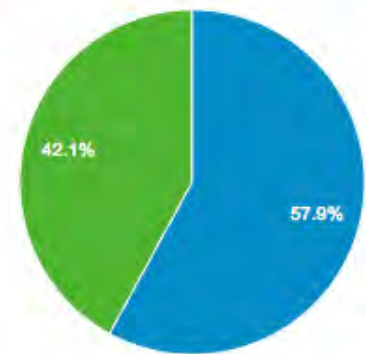
ページビュー数  
**200,538,576**

ページ/セッション  
**4.75**

平均セッション時間  
**00:03:43**

直帰率  
**53.24%**

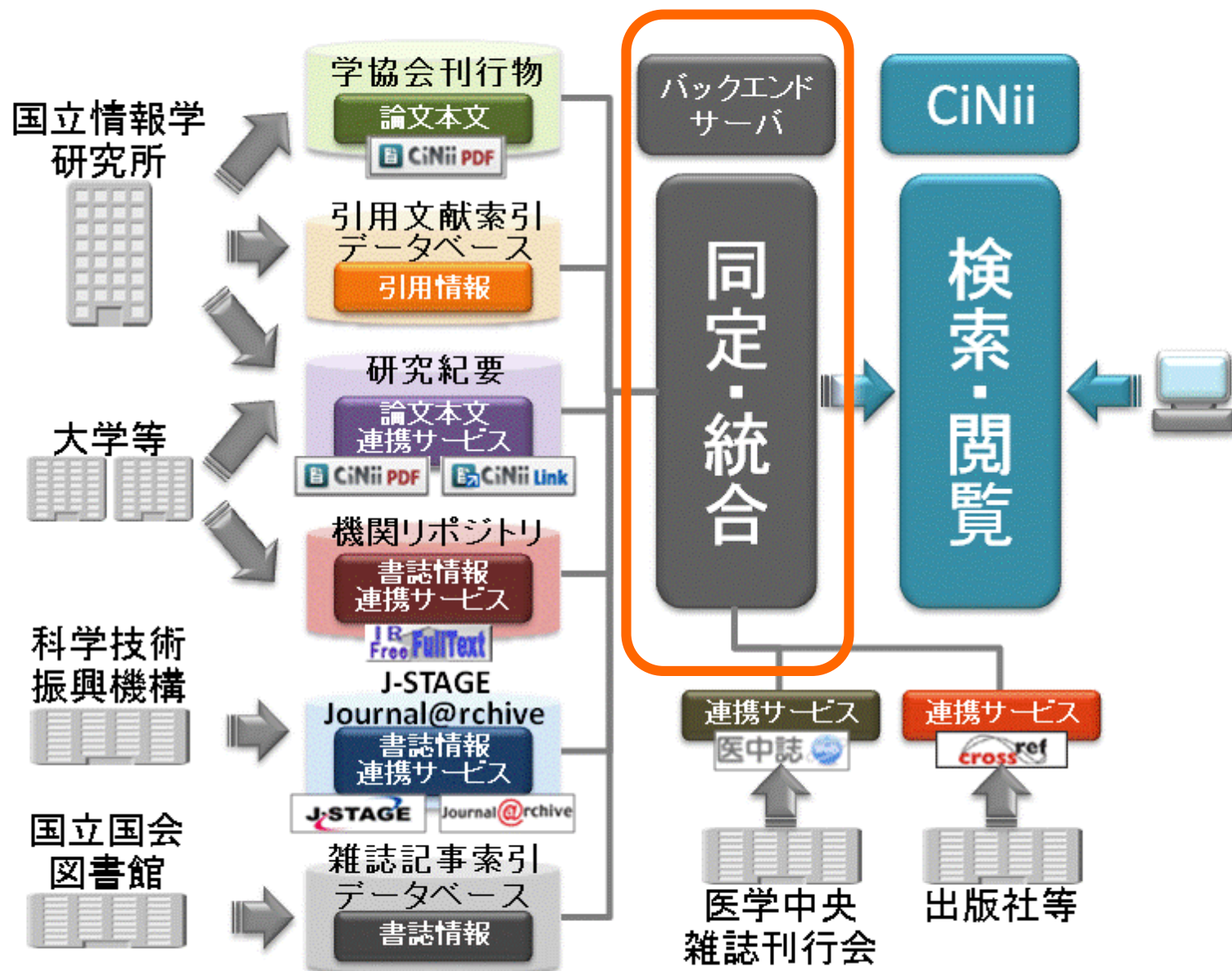
■ Returning Visitor ■ New Visitor



# 3つのCiNii

- Articles: 日本の論文をさがす
  - 書誌情報 1840万件
  - 本文へのリンク 720万件
- Books: 大学図書館の本をさがす
  - 書誌情報 1150万件
  - のべ所蔵数 1億3000万件
- Dissertations: 学位論文をさがす
  - 2015年度公開予定

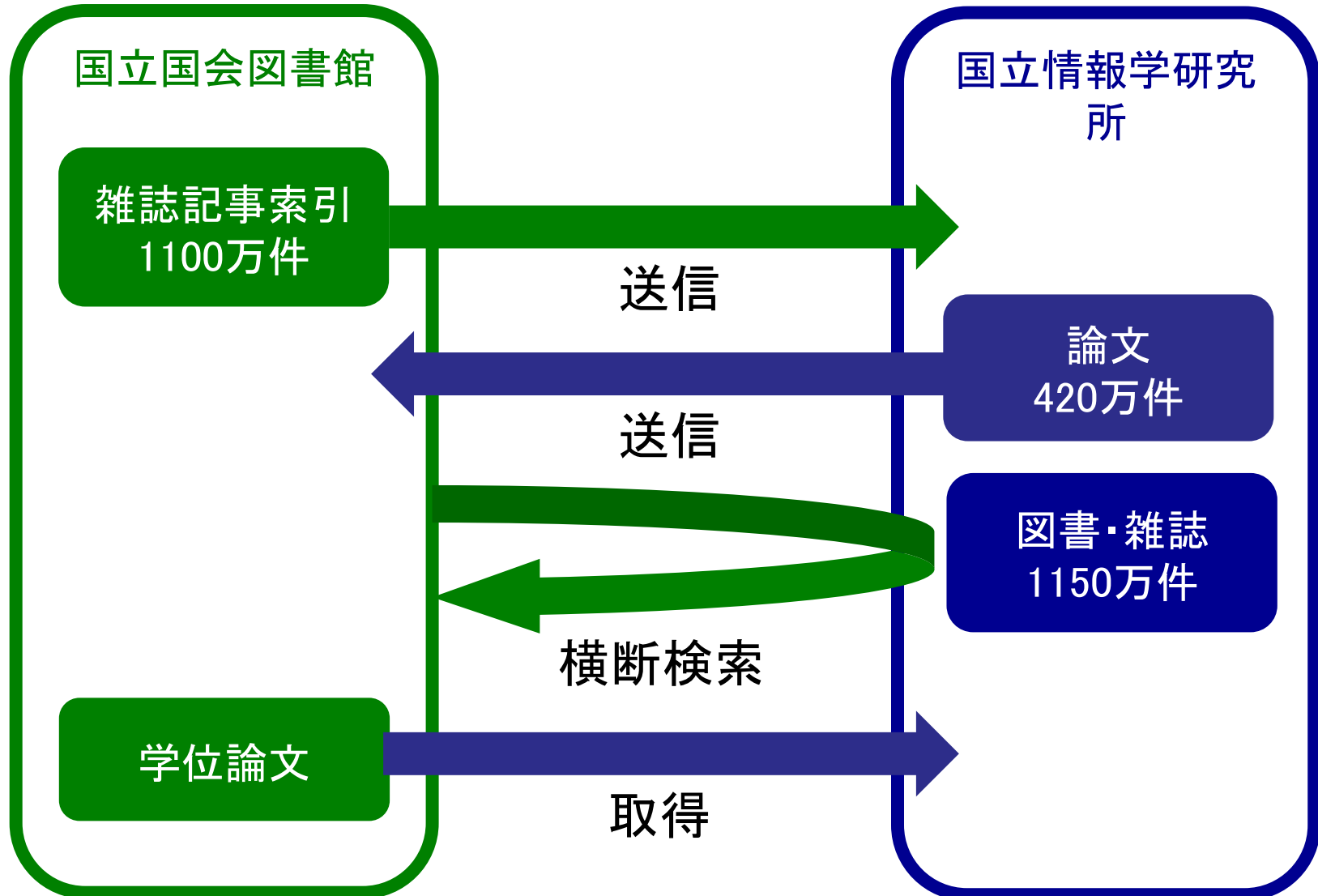
# CiNiiの全体像(概念図)



# データプラットフォーム

- ウェブAPIの公開(2009)
  - 第三者によるCiNiiデータの利活用
    - 組織・グループ・個人への開放
    - サービスへの活用・研究利用
  - ウェブAPIコンテスト(2009・2010)
    - 他のコンテストへの参加(2011～)
- Booksデータのオープン化(2014)
  - CC BY 4.0
  - 国際的な相互運用性の向上

# 国立国会図書館との連携







記事・論文

## オープンデータ活用:1. オープンデータと Linked Open Data

大向一輝

### 詳細情報

タイトル: オープンデータ活用:1. オープンデータとLinked Open Data

著者: [大向一輝](#)

出版年: 2013-11-15

注記: 本文情報: なし

別タイトル: Utilizing Open Data:1. Open Data and Linked Open Data

著者別名: OHMUKAI Ikki

件名 (キーワード): [特集](#)

Webを通じたデータの積極的な公開・共有を目指すオープンデータを進めるにあたっては、ライセンスの選択やデータが作られる現場のワークフロー設計といった制度面における課題とともに、公開されるデータのフォーマットやアクセス方法などの技術面での検討が必要である。実際にオープンデータを利用するユーザの観点からは、入手が容易であり、処理のしやすいデータほど活用されやすい傾向にあると思われる。Web上に散在する多様なデータに対して統一的手段でアクセスすることができ、そのデータが共通のルールに基づいて記述されているような環境の構築は、オープンデータの普及にとって重要な課題である。これに対して、文書の公開・共有手段として成功を取めたWebの技術的方法論をデータに適用するLinked Open Data(LOD)が注目されている。本稿ではオープンデータを支える技術としてのLinked Open Dataについて述べ、今後の展望について議論する。

対象利用者: 一般

資料の種別: 記事・論文

掲載誌情報 (ISSN形式): 04478053

掲載誌情報 (URI形式): [情報処理](#)

掲載誌名: 情報処理

### 見る・借りる

[CiNii Articles](#)

[CiNii Booksで探す](#)

### 入手する

[書店等で探す](#)

### ブックマーク

[はてなブックマークに追加](#)

[Yahoo! ブックマークに追加](#)

[del.icio.us に追加](#)

[Twitter でつぶやく](#)

### 検索結果を出力

[書誌情報をDC-NDL\(RDF\)で出力](#)

[書誌情報をJSONで出力](#)

# ビジョンとミッション

- データが共有されているのなら、なぜ2つの組織がサービスを手がけなければならないのか？
- サービスの姿を決めるもの
  - 実現すべき未来（ビジョン）
  - 達成すべき使命（ミッション）
  - サービス対象
- 組織によって異なる

# CiNiiのビジョンとミッション

- ビジョン
  - 日本の研究力・教育力を高める
  - 学術情報を必要な人々に届ける
- ミッション
  - 学術情報の収集・整理・提供
    - 学術でない情報は扱わない
- サービス対象
  - 研究者・学生＋専門知識を必要とする人々

# 問題提起

- 大規模デジタルアーカイブの困難さ
  - 「何でもあるけど、全部はない」
  - 「来るもの拒まず、去るもの追わず」
- 不完全性と向き合うために
  - NDLサーチのビジョンとミッション
  - Europeanaのビジョンとミッション
    - 目標設定と評価